



富士ゼロックス岩手株式会社より車いす贈呈

1月19日に富士ゼロックス岩手株式会社（畠中俊彦代表取締役社長）より車いすを寄贈いただきました。

同社では社員一人ひとりが毎月の給与の100円未満の額を積み立て、これに会社側も同額を立て、社会貢献活動に充てる取組みを行っています。



その一環として平成20年より毎年、車いすを寄贈いただいており、寄贈式では、畠中社長から岩手県社協の古内専務理事に目録が贈られました。寄贈いただいた車いすは、県社協を通じて、県内の障害者福祉施設と高齢者グループホーム20施設に寄贈されました。

富士ゼロックス岩手株式会社よりテレビ等寄贈

12月25日に富士ゼロックス岩手

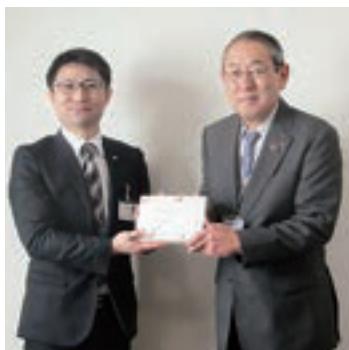
株式会社（畠中俊彦代表取締役社長）は、児童養護施設みちのくみどり学園（西山秀則園長）に大型

テレビ1台と、ブルーレイディスクプレーヤー1台を贈りました。

みちのくみどり学園で行われた寄贈式では、畠中社長から西山園長に目録が贈られました。寄贈されたテレビとプレーヤーは、同園の憩いの場に設置され、入所児童に喜ばれています。

8月22～23日に放送された「24時間テレビ38『愛は地球を救う』」を中心として、1年間に寄せられ

た募金の一部を活用して、岩手県内9か所の社会福祉法人等にリフト付バス、入浴専用車などの福祉



岩手銀行労働組合より書き損じはがき寄贈

2月25日に岩手銀行労働組合（鈴木拓也執行委員長）の鈴木執行委員長と佐々木書記長が本会を訪れ、書き損じはがき293枚を寄贈いたしました。

同組合は、2003年度から書き損じはがき、使用済み切手などを寄贈しており、今回で13回目となります。

今回寄贈いただいたはがきは、「いわて車いすフレンズ」活動の費用の一部（国内輸送費）として役立てる予定です。「いわて車いすフレンズ」活動とは、県内8校の工業高校生と岩手大学工学部の学生が、使われなくなったり、一部が破損したりした車いすを修理し、

東南アジアを中心とした海外に届ける活動です。

平成15年度より、累計で730台を19か国に寄贈しました。

24時間テレビ38「愛は地球を救う」福祉車両贈呈

車両が贈呈されました。

2月19日、ふれあいランド岩手で行われた贈呈式では、テレビ岩手の樋崎憲二代表取締役社長から9法人に自動車と目録が贈呈されました。

れどおり、各々の震災復興支援に役立てられます。



TOPICS

ご寄付ありがとうございます

た。
昨年、一昨年に引き続き、トヨタ自動車と会員会社で組織される団体「協豊会」（信元久隆会長／事務局愛知県）より、会員から募った物品（携帯端末・スマートフォン等）をご寄付をいただきました。

協豊会より被災地支援物品の寄付

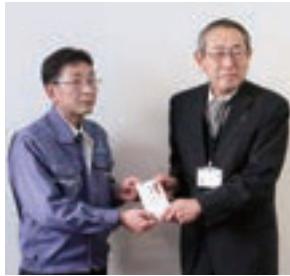
今年、760円（これまでの総額5,221,241円）となりました。この寄付金は、本会が実施している東日本大震災の被災地支援事業のため活用させていただく予定

1月14日、丸モ盛岡中央青果株式会社の小松清弘専務理事が当会を訪れ、19万円の寄付金をいただきました。

同社では、年始初売り宝船の売上金を平成18年度から寄付されており、今回で10回目となります。頂戴した寄付金は、岩手県社会

丸モ盛岡中央青果株式会社寄付金寄贈

福祉協議会の福祉推進活動に活用させていただきます。



2月19日に住友生命相互会社盛岡支社の加藤達志総合マーケット推進部長、熊谷美智子サブマネージャーらが本会を訪れ、使用済切手を寄贈いただきました。今回寄贈いただいた切手は、「いわて車いすフレンズ」活動の費用の一部（国内輸送費）として役立てる予定です。



住友生命より使用済切手寄贈

「生きる」を創る。



「がん」を考える。 それは、ご家族を想うこと。

もし「がん」になったとき、誰を頼りにしますか？
いちばん頼れるのは、いつもそばで支えてくれる家族です。

しかし治療中は、経済的・精神的に大きな負担をかけてしまう現実も…大切なご家族のために、もう少し「がん」について考えてみませんか？



「がん経験者のためのがん保険」が発売になりました！



■募集代理店

ナカイ株式会社 盛岡支店

〒020-0025 盛岡市大沢川原3-8-40 パレスこすかた橋1F
TEL:019-652-3261(代) FAX:019-652-3275

0120-523-261

ナカイ 保険



■引受保険会社

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)

盛岡支社
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス13F
当社保険に関するお問い合わせ:各種お手続きセンター 0120-5555-95